

1 がっひかりごう

令和4年1月1日 輝保育園

新春のお慶びを申し上げます。新しい一年が、お子様にとって、また保護者の皆様にとって笑顔がたくさんになる年になりますよう、お祈り申し上げます。 厳しい自粛生活でしたが、少しずつ緩和され、子ども達から、「〇〇に遊びに行ったよ!」、「ご飯を食べに行くよ!」という声が聞かれるようになりました。その表情の嬉しそうなこと。今年も、子ども達が様々なことに挑戦し、更に生き生きと過ごせるよう支えていきたいと思っております。本年もよろしくお願いいたします。

【今年のお干支】

今年のお干支は寅（とら）です。

寅は、毛皮の模様から前身が夜空に輝く星と考えられていた存在。

「決断力と才知」の象徴の意味もあり、縁起物としても親しまれています。



=== ナース・レポート ===

【子どもの乾燥肌対策】

子どもの肌は、いつもすべすべというイメージがありますが、皮膚は大人より未熟で温度・湿度の下がる冬はカサカサになりがちです。

毎日のお風呂も気を付けるべきポイントがあります。

まず、体はタオルやスポンジで洗わずに、ボディソープを泡立てて手で洗いましょう。

お風呂上りの肌はどんどん乾燥していき、そのまま何もしないと20～30分後には入浴前よりもさらに乾燥した状態となります。

ですから、お風呂からあがって水分を拭きとったら、1分でも早く保湿することが大切です。

夜だけでなく、朝、着替えの時にもスキンケアを行い1日2回がベストとされています。

子どもの肌にはワセリンがオススメです。

適量は大人の人差し指の先から第一関節までに乗せた量で、大人の手のひら2枚分の面積に塗る量に相当します。

「肌がテカる程度」や「ティッシュを当てるとくっつく程度」も目安にしてください。

日々のスキンケアをしっかり行い、乾燥や刺激に負けないバリアの整った肌を目指しましょう。

《《《 お願い 》》》

1. クリアケースの中と、お便り帳を毎日確認してください。
2. お金などの貴重品は、必ず職員に手渡しをお願いします。
3. 持ち物や衣類には名前を記入をお願いします。名前が薄くなっていないか、もう一度確認をして下さい。
4. 夜更かしをさせず、早寝・早起をし、しっかり朝食を摂りましょう。
5. 毎日入浴させ、清潔にしましょう。

☆☆ コミュニケーション ☆☆

～ 大人の関わり方 ② ～

子どもの話を最後まで聞く
(言葉の先取りをしない)

子どもの話を最後まで聞かず、子どもが伝えたいことの意を汲んでしまい、大人が先に行動したり、話をしたりすることはありませんか。

「おかあさん、ご飯ー!」、「じゃあ、食べる準備をしようね」また、「子どもがうまく説明できずにいるところに、大人の側から内容を導き出す」などがわかりやすい例でしょう。

これらの積み重ねが、自分の思いを正確に伝えられないという現象につながります。

子どもが、「主語、述語」を使ってきちんと話せるようになるために、大人が言葉の先取りをせずに「待つこと」、「我慢すること」、そして「最後まで伝えられるよう仕向けること」、「ご飯をどうしたいの?」が大切です。

子どもが「主語、述語」を使って、自分の思いを正確に伝えられるということになると、自分に対して自信を持ち、後々、学ぶ意欲や自尊心を高められるでしょう。

また、話を最後まで聞くことは、話し合いの基本的なルールでもあります。



「教育力向上福岡県民運動 ホームページ」より抜粋

こ ども の よ う す

たんぼぼぐみ
0才児



給食後、暖くなる時間にたんぼぼ園庭に行く機会を多く持ち、体を十分に動かして遊びました。保育士が帽子入れ、靴入れを持ってくると、子どもたちはたんぼぼ園庭に行くことが分かり、笑顔いっぱいです。外に行くときには帽子を被ることも知っていて、自分で帽子を被ろうと一生懸命な姿も見られます。たんぼぼ園庭に出ると、思い思いの遊びを楽しみ、すべり台をしたり、アンパンマンの乗り物に乗ったり、鉄棒にぶら下がったりと、手足の力がつき、成長とともに逞しさも感じます。子どもたち同士で一緒にいる姿も微笑ましくて可愛い姿です。ほとんどの子が1才を迎え、歩くこと、走ることを楽しんでいました。室内とは違って、硬い地面を踏みしめ、脚力もしっかりついてきました。転倒や怪我を防ぐためにも靴は見合ったものを履かせてください。

たんぼぼぐみ
1才児



あけましておめでとございます。今年もよろしくお願い致します。お友達と一緒に楽しい1才児さん。手を繋ごうと誘い、園庭をお散歩したり、同じことをして遊ぼうとしたりすることも増えてきました。子ども同士で楽しそうに遊んでいることも多いですが、思いの違いから、トラブルになることもあります。その時は、その都度、保育者が互いの思いを代弁しながら、仲立ちしています。「これで遊びたかったんだね」など思いを受け止めると、泣いていたり、怒っていたりしても、分かってもらえた安心感から少し気持ちが落ち着くようです。その後、相手の思いも伝えながら、一緒に待ったり、他の遊びに誘ったりしています。上手くいった経験、思うようにならなかった経験など、様々な経験の中から友達との関わり方を学んでいます。

すみれぐみ
2才児



寒さが一段と身に染みるようになりました。戸外遊びでは、三輪車やスケーター、見立て遊びを楽しんでいます。一人遊びが中心だったのが、遊びを通して友達との関わりも増え様々なことを経験しています。友達に興味を持ち「一緒に遊びたい」という気持ちが芽生えた一方で、思い通りにならないもどかしさから、ぶつかり合うこともあります。遊びや生活の中で必要な言葉「かして」、「ありがとう」、「ごめんね」などが言えるように、保育士が仲立ちとなり、互いの思いを代弁しながら、言葉での伝え方、また、友だちの思いに気づけるよう関わっています。ぶつかり合う経験は、社会性を学ぶ上でとても大切なことです。この経験を通して、順番を守ること、おもちゃや物の譲り合いなどを習得していきます。

ちゅうりっぷぐみ
3才児



数概念理解の指標として「数唱」、「計数」、「概括」、「抽出」があります。これら4つの概念の理解を通して、10までの数の操作ができるようになる事が幼児期の目標とされています。ちゅうりっぷ組では「3」までの数を操作できる事を目標におき1対1の対応をさせながら数える事(計数)や「1、2、3、全部で何個? (概括)」、「3個取ってね。(抽出)」など、生活や遊びの中に、「数」を取り入れてきました。10までの数唱はほとんどの子が習得しており、「3」までの計数や抽出も随分と安定し始めました。友達同士確認したり教えたりと、知識を知恵に変える喜びに気付き始めた姿も見られています。今年も沢山のご協力ありがとうございました。新年もよく遊びよく学ぶ充実した1年でありませう、こども達の健やかな成長を願っています。

ばらぐみ
4才児



「くるみ割り人形」というお話を題材に、劇遊びをしています。絵本を読みながらやり取りを重ね、イメージを広げていく際、ひとりの子が悲しげな表情をしました。人形がネズミに捕られそうになり、物を投げて追いつく場面「ネズミが可哀そう!」と思ったようです。「どうしたら人形を守れるかな?」と質問してみると、その子は少し考え「チーズを置いてあげると、食べて満足すると思う」と答えました。周りの子も「それいいね!」と納得しました。この事をきっかけに、意見を出し合う姿が増えました。相手の声に耳を傾ける姿、アイデアを出し解決しようとする姿に感心しました。意見を出し合いながら、仲間と一つの目標に向かう中で、考える力が育まれています。その力を、日常生活の中でも発揮していく事を期待しながら、過ごしていきます。

ひまわりぐみ
5才児



寒い冬を元気に過ごすために薄着で過ごしています。戸外で鬼ごっこをしたり縄跳びをしたりして、体をたくさん動かすと体が温まることを実感し、戸外では上着を着るのが当たり前だったのが、今では「寒い」と言っても、上着を脱いで遊んでいます。また、ルールのある遊びの一つに自分のチームの一人を守り、敵のチームの一人を奪いに行く遊びがあります。初めはただ勢いで相手チーム行って奪いに行く姿が多く見られていましたが、回数を重ねるうちに「ぼくが奪ってくるけん、二人は守って」と作戦を考え合う姿が見られるようになりました。ひまわり組になった頃のルールのある遊びでは、負けたら他人のせいにしてしまう姿が見られていましたが、友だちと共に活動に取り組む楽しさや喜びを味わいながら過ごせるようになりました。



= 1月の行事予定 =

- 4日(火) 保育初め
- 8日(土) 消防出初式
(ひまわり組希望者)
- 11日(火) 避難訓練
- 28日(金) 身体測定・誕生会